

2018 春闘 連合福島国際女性デーフォーラム

女性の力は無限！権利を放棄しないでチャレンジ！

～男女平等運動は女性の“活用”ではなく“参画”が必要～



「ラコパふくしま」で開催された「連合福島国際女性デーフォーラム」

連合福島2018春季生活闘争「連合福島国際女性デーフォーラム」は連合福島青年女性委員会主催で、3月3日（土）に福島市のラコパふくしまにおいて、全県の構成組織と各地区連合から約130名が集い開催された。



連合福島青年女性委員会・大越香代子代表幹事

主催者を代表し大越代表幹事より「男女が平等に働ける環境は整いつつあるが、ジェンダーギャップ指数は年々順位を落としている。これからは女性も男性と同じように自分達の問題を人任せにせず、自ら解決するという自覚が必要」と参加者に呼びかけた。

さらに、連合福島の今野会長より「女性参画社会実現にむけて地方連合会初の西田会長をお迎えした。是非、西田会長のバイタリティーを感じて頂き、今後に役立ててほしい」と連帯の挨拶を受けた。



連合福島・今野泰会長



講演を頂いた、地方連合会で初めて女性会長となった 連合奈良・西田一美会長

続いての講演では、地方連合会で初めての女性会長に就任された連合奈良の西田会長を講師に迎え「女性の力は無限！～私が日本を変える～」と題し講演を頂いた。講演の中では「一部の女性が活躍するのではなく女性全体が活躍できなければいけない」「男女平等参画には性別役割分担意識の改革が必要」「断らないこと、失敗を含めたチャレンジする権利を放棄しないこと」と女性役員を長年務めてきた経験をもとに男女平等の課題を解決するためのアドバイスを頂いた。

さらに、質疑応答では多くの参加者と質疑を交わし、最後の集会



質疑応答で発言する左より、JP労組・今野未奈子さん、電力総連・諸橋誠敏さん、JP労組・伊藤昭子さん、電力総連・安齋隼人さん

アピールとして小形晴香幹事が提案し、会場の拍手にて採択され連合福島国際女性デーフォーラムは幕を閉じた。



左) 司会を務めた小林光宏・青年女性委員会幹事、右) アピール(案)を提案する小形晴香青年女性委員会幹事